



校訓：進取 敬愛 剛健

児童像 【考える子 思いやる子 たくましい子】

# 英田っ子

学校だより 1月号

令和2年1月8日

校長 西田 素子

## 謹んで新年のお慶びを申し上げます

今年の子年。干支では「命の始まり」という意味をもつ「子」と変化の予兆という意味をもつ「庚」の組み合わせである「庚子（かのえね）」にあたり、「変化を求めて新しいことにチャレンジするのによい年」なのだそうです。「英田っ子の変化＝成長」に期待し、チャレンジする勇気を後押しし、達成感・充実感を存分に味わわせる一年にしたいと思います。

さて、今日から始まった3学期は51日間（6年生は48日間）です。あっという間に過ぎてしまうことがないように、1日1日の生活、1時間1時間の授業を大切にしていきたいものです。保護者の皆様、地域の皆様、本校の教育活動に引き続きご支援賜りますよう、よろしくお祈り申し上げます。



### 【1月の目標】

学習：「ふり返りまで ていねいに書こう」

→6月の「下敷き・ものさしを使って ノートでていねいに書こう」からレベルアップさせ、授業の終盤となる「ふり返り」までを丁寧に書く指導を行います。ノートを是非ご覧ください。

生活①：「いつでも どこでも だれにでも あいさつしよう」

→これまでの挨拶をふり返り、「どんな場面で誰に」する挨拶をがんばるのか、自分のめあてを決めて取り組みます。ご家庭でも来客時や外出先などで挨拶ができるよう、お声かけください。

生活②：「すすんで運動して できることを増やそう」

→冬の体力づくりの一環として、全校で縄跳びに取り組みます。短縄の個人技、8の字跳びなど、積極的に練習するよう働きかけ、できる技を増やしたり、記録を更新させたりしたいです。

## 次の学年に向けてレベルアップする3学期に ～ 継続は力なり ～

3学期は進級・進学を見据え、その学年で付けたい学習面・生活面の力を確かなものにしていきたいです。また、それぞれが1年の総まとめとして、自分の目標をしっかりと持ち、その達成に向けて努力を続ける、やりきる3学期にしてほしいと思います。

目標を達成することが目的であり、努力するのは、そのための方法です。しかし、努力する姿は尊く、それを続けられるのも一つの力だと思います。ねばり強くがんばることは、本校のめざす「たくましい子」の具現でもあります。

本日の始業式で「継続は力なり」という言葉を引き合いに、自分の目標を実現させるため、学年相応の力を付けるため、努力を続けることの大切さについて話しました。この言葉は、宗教家 住岡夜晃氏による「青年よ強くなれ」から始まる『讃嘆の詩』の「念願は人格を決定す 継続は力なり」という一節を取り上げたものであり、これに続き、感情に左右されず誘惑に負けず念願を貫くことが真の強さであるという文が綴られています。

「地道にコツコツと」「真剣に集中して」「周りに流されず一人でも」努力できる力は、何かしらの目標のためだけでなく、違う場面でも生きて働く力となります。誠実に物事に向き合える真摯な姿勢は、人と信頼関係を築く上でも必要ではないでしょうか。



学校では、興味関心意欲を高める授業づくり・継続的な取組で力を付ける活動づくりに努めています。結果だけを重視せず、その過程の「がんばり」をしっかり見取り、認め励ます指導で「努力を続ける力」も育てていきたいと思っています。どうかご家庭でも「今、学校で何にがんばっているのか」積極的に話題にさせていただくとともに、温かい応援の言葉をかけていただけましたら幸いです。

